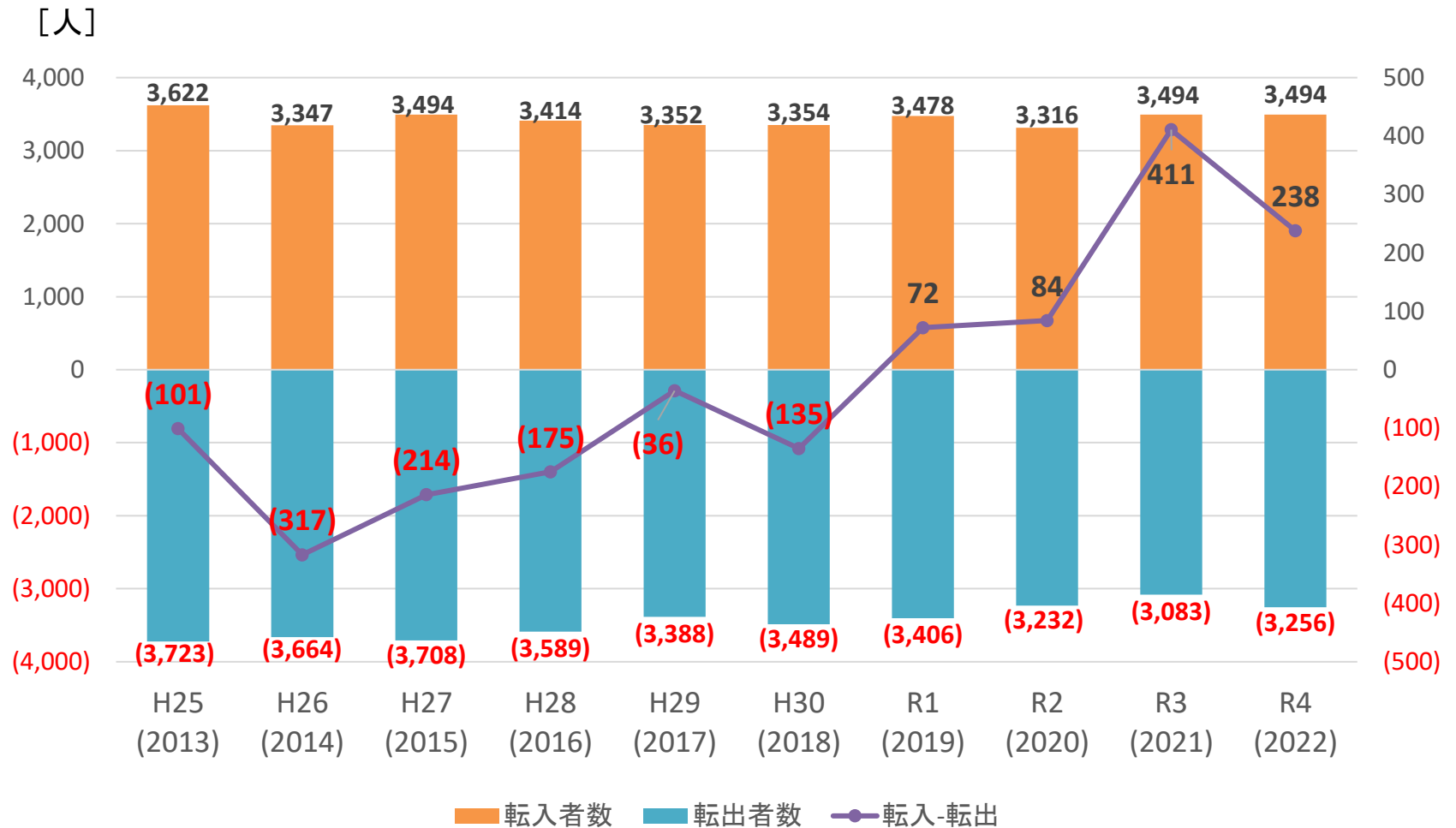


令和4年 転入転出の状況について

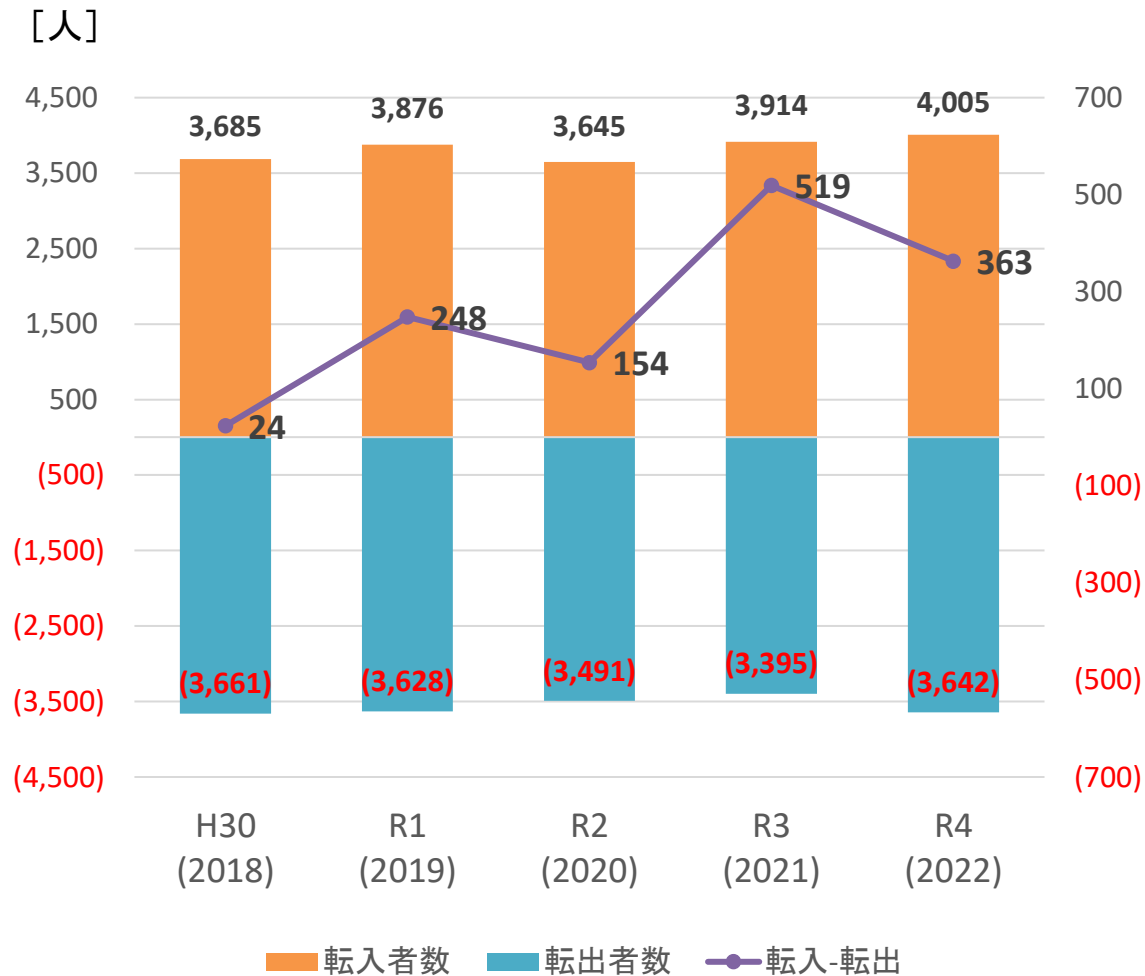
出典:住民基本台帳人口移動報告

那須塩原市 転入者・転出者数の推移(日本人のみ)



市内の社会増減は、R1(2019)年以降転入超過となっている。

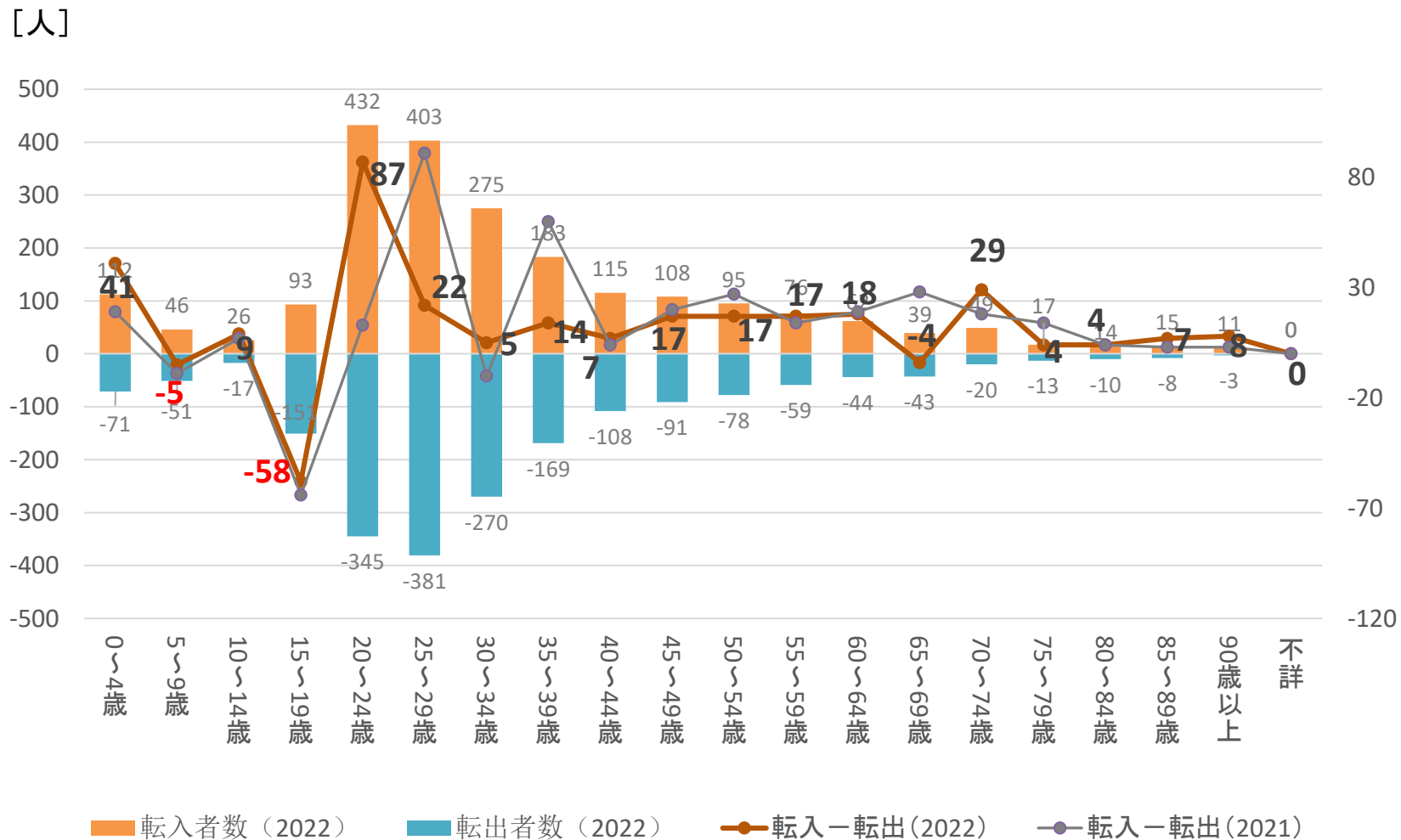
那須塩原市 転入者・転出者数の推移(外国人含む)



外国人を含めた全体では、H30(2018)年から転入超過に転じている。

* 住民基本台帳人口移動報告は、H29(2017)までは日本人のみで集計、H30(2018)以降は外国人を含んで集計

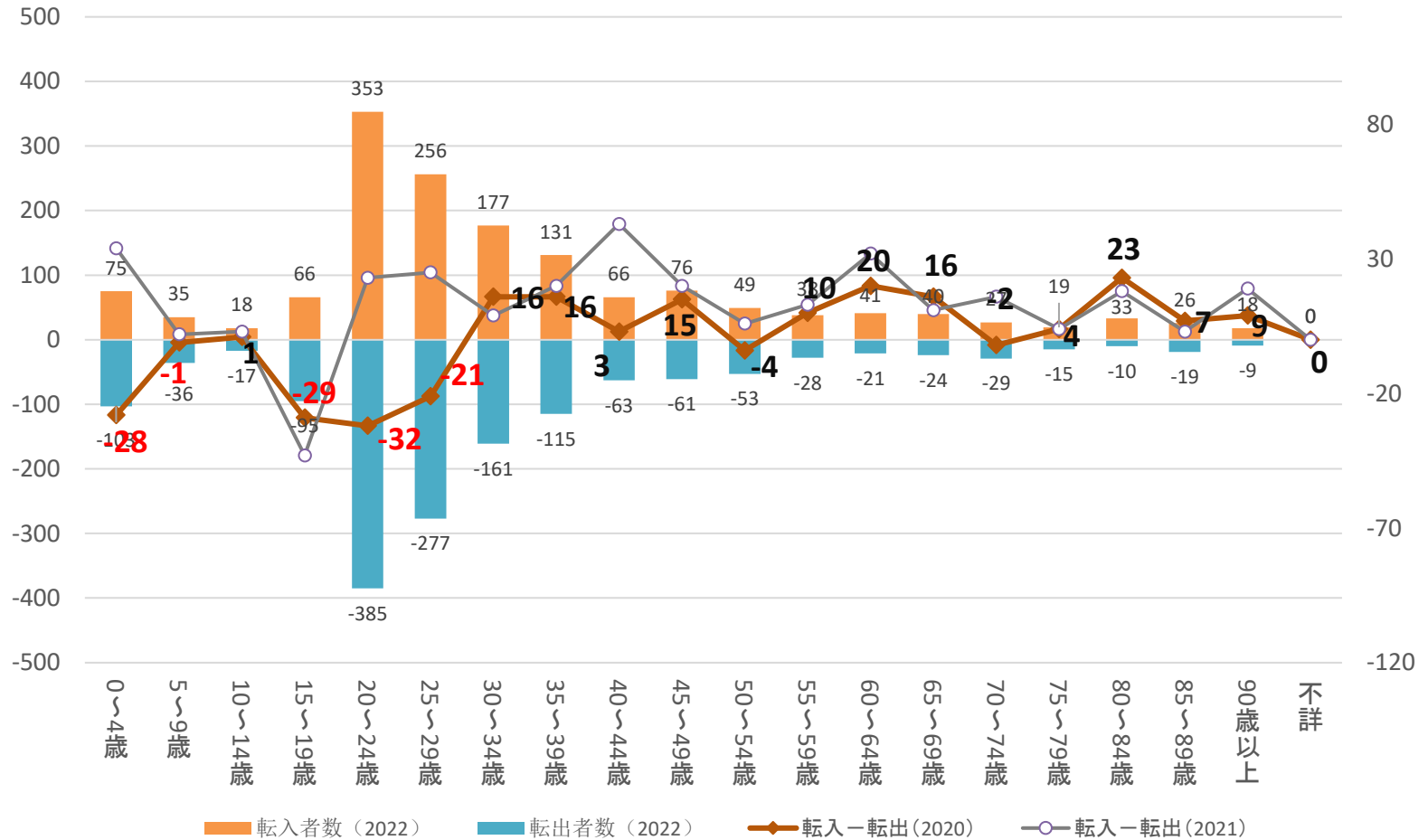
年齢階級別転入者・転出者数(男)



男性は、10代後半が転出超過であるが、20代前半で転入超過となる。

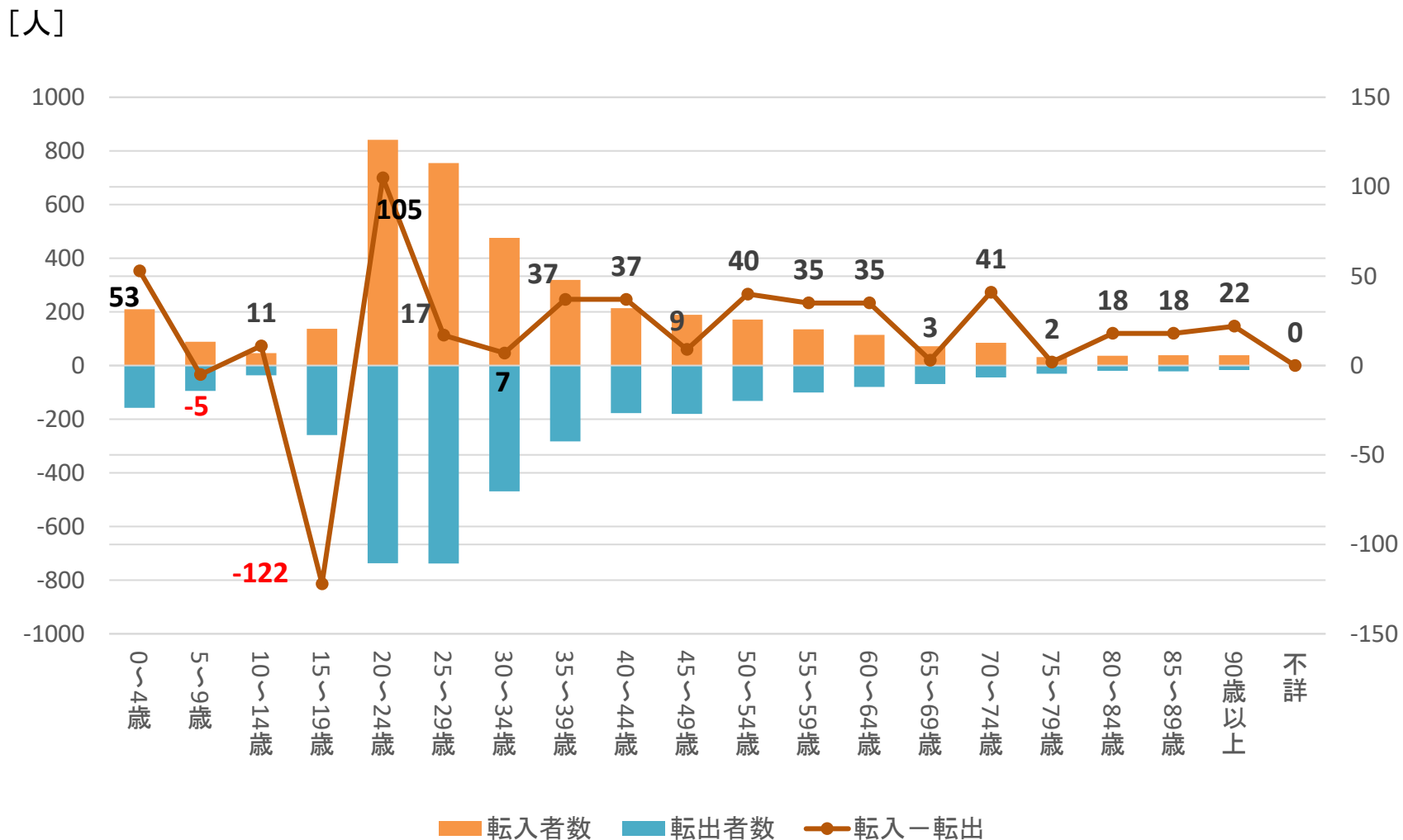
年齢階級別転入者・転出者数(女)

[人]



女性は10代後半から、20代まで転出超過となっている。

那須塩原市：年齢階級別転入者・転出者数(全体)



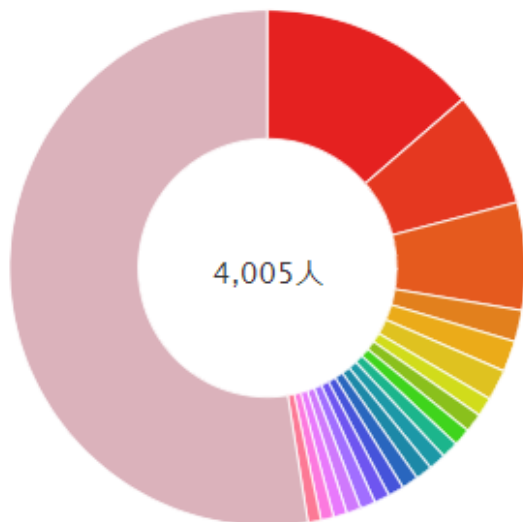
10代を除く全ての年代において、転入超過となっている。

※都心への回帰が見られるものの、地方への移住傾向は続いているものと思われる。

那須塩原市：市町村別転入超過数・転出超過数の内訳

転入数内訳

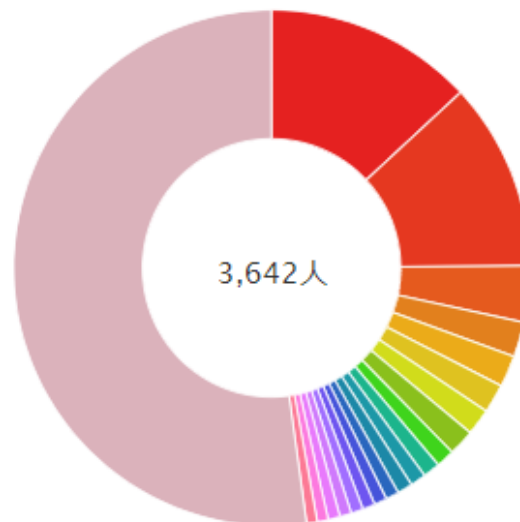
総数



- 1位 栃木県大田原市 547人 (13.66%)
- 2位 栃木県宇都宮市 290人 (7.24%)
- 3位 栃木県那須町 270人 (6.74%)
- 4位 栃木県矢板市 79人 (1.97%)
- 5位 埼玉県さいたま市 78人 (1.95%)
- 6位 神奈川県横浜市 77人 (1.92%)
- 7位 福島県白河市 48人 (1.20%)
- 8位 神奈川県川崎市 47人 (1.17%)
- 9位 栃木県さくら市 44人 (1.10%)
- 10位 栃木県栃木市 43人 (1.07%)

転出数内訳

総数



- 1位 栃木県大田原市 477人 (13.10%)
- 2位 栃木県宇都宮市 429人 (11.78%)
- 3位 栃木県那須町 128人 (3.51%)
- 4位 埼玉県さいたま市 80人 (2.20%)
- 5位 栃木県小山市 72人 (1.98%)
- 6位 神奈川県横浜市 66人 (1.81%)
- 7位 栃木県さくら市 60人 (1.65%)
- 7位 栃木県矢板市 60人 (1.65%)
- 9位 神奈川県川崎市 42人 (1.15%)
- 10位 福島県白河市 39人 (1.07%)



転入超過数・・・約半数が近隣市町。
 転出超過数・・・県内の県央・県南地区が7割。

出典：REASAS